

## ◎完成図の作成要領

### 【平面図】 【配管図】 【給水平面、詳細図】

- ①新設配水管は、「赤線赤字」で「濃く・太く」図示する。
- ②既設管路は、「青線破線」とし、新設管と明確に分ける。
- ③新設給水管は、「オレンジ線」とし、既設管及び配水管と明確に分ける。
- ④既設接続部については、近くの水道施設(仕切弁等)からの距離を図示する。
- ⑤既設接続部の近くに基準となる水道施設がない場合は、構造物(樹、側溝、擁壁等)からの2点以上の距離を図示する。  
..オフセット図(場合によっては抜粋・拡大)
- ⑥旗上(寸法線)は、  
『起終点・変化点・分岐点・地表施設(バルブ等)』  
を基準とし図示する。また変化点については、オフセット図の要否を監督員と協議する事。
- ⑦寸法・延長は、平面延長の横に( )で実延長(斜距離等)を図示する。なお、複雑な配管の場合は配管図にも延長を図示する。
- ⑧配管延長と別に土工延長(土工は平面延長)も図示する。
- ⑨横断図作成については、基本は40m間隔とするが布設法線や、道路形態の変化点において作成する。また、他の埋設物がある場合には、詳細に図示する事。

### 【舗装展開図】 【区画線図】 【舗装切断図】

- ⑩舗装展開図は、  
変更契約延長と出来高延長の二段書きで作成。  
測点を表示する。(管種口径別に分ける)
- ⑪区画線図は、平面図又は舗装展開図上に延長や規格等を図示する。(管種口径別に分ける)
- ⑫舗装切断図は、一次及び二次切断の詳細図を作成する。(管種口径別に分ける)

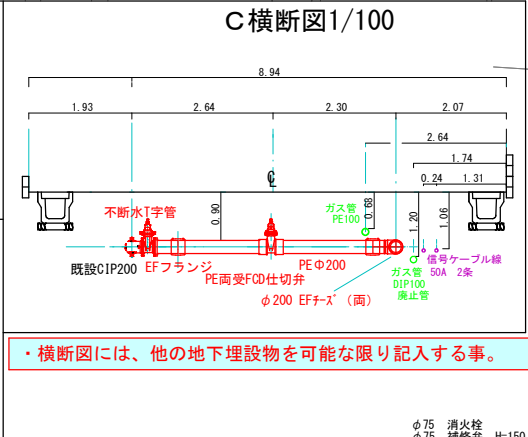
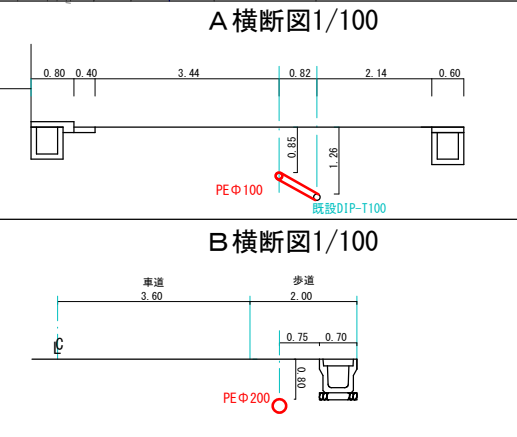
【完成現場】～事前検測までに受注者が行うこと。

- ①現地にマーキングする。  
基準とする点は、旗上の基準(起終、変化、給水等)点とする。
- ②測点についても、同様にマーキングとする。

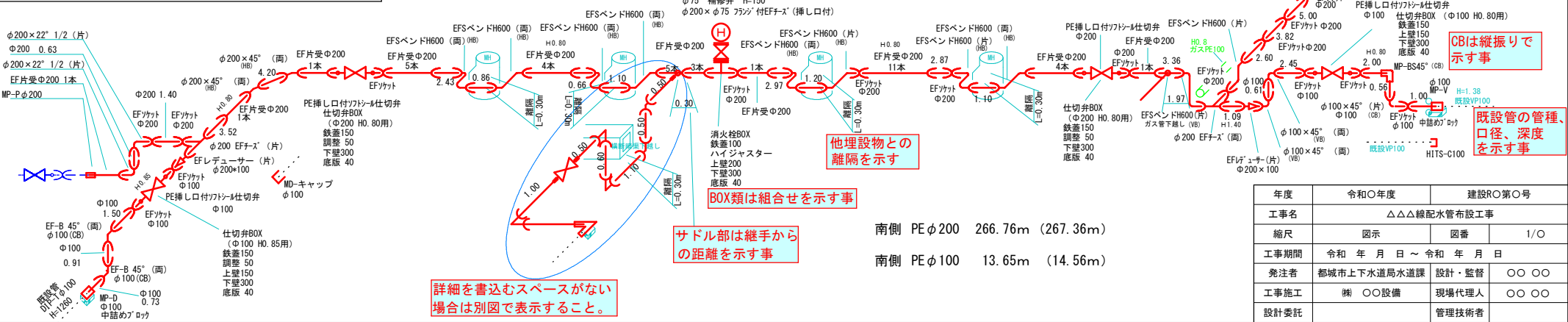
※現場条件等によっては、本注意点に該当しない場合もあるので、不明な点等についてはその都度監督員と協議を行うこと。



位置図 1/10,000



### 配管図 Free

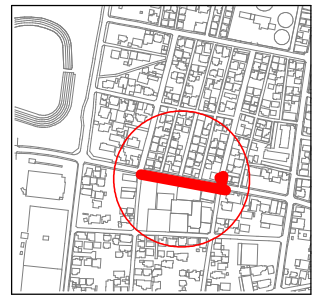
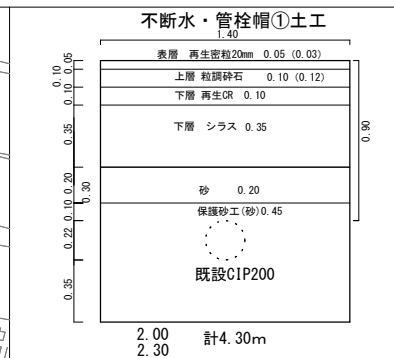
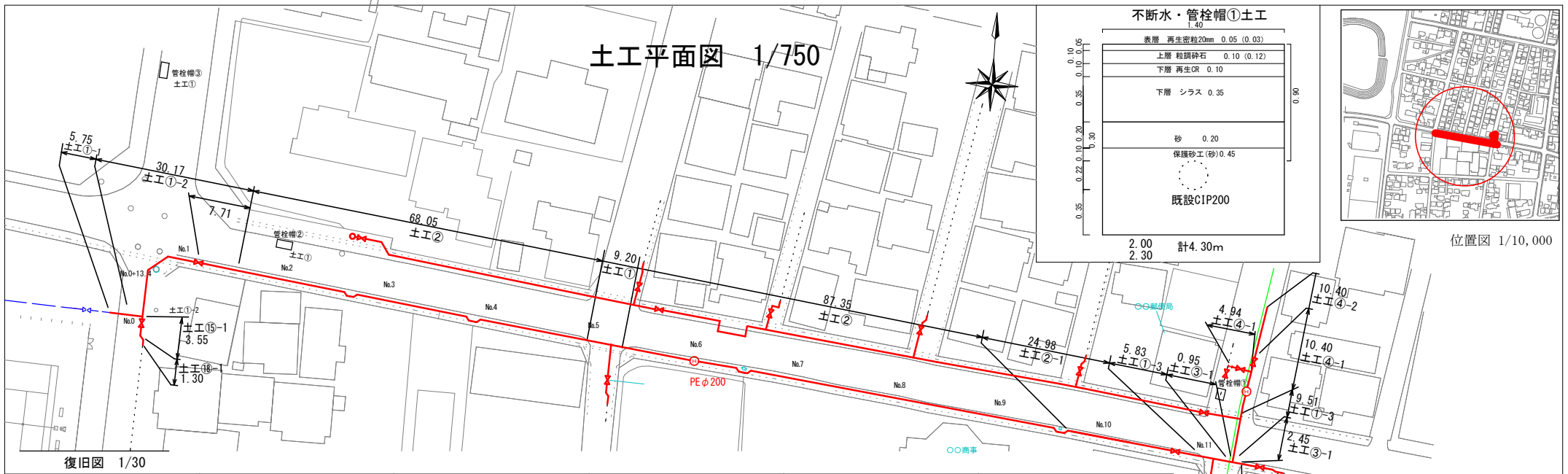


南側 PEφ200 266.76m (267.36m)

南側 PEφ100 13.65m (14.56m)

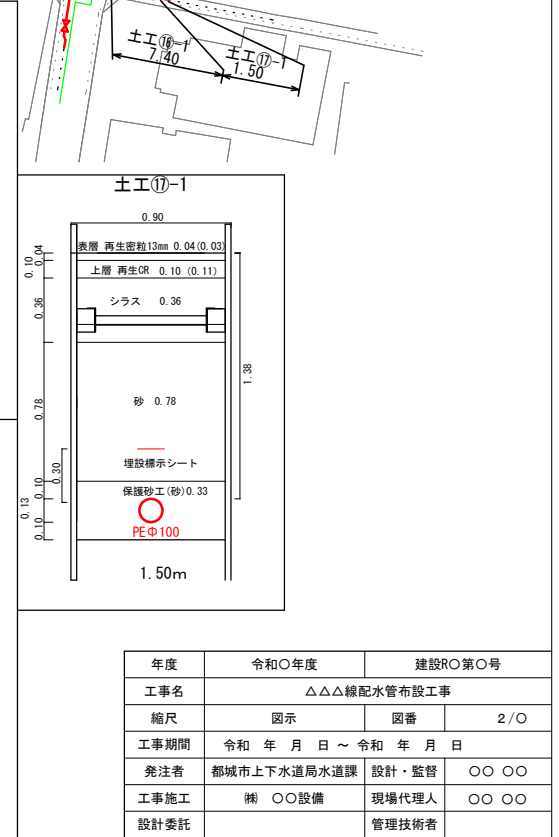
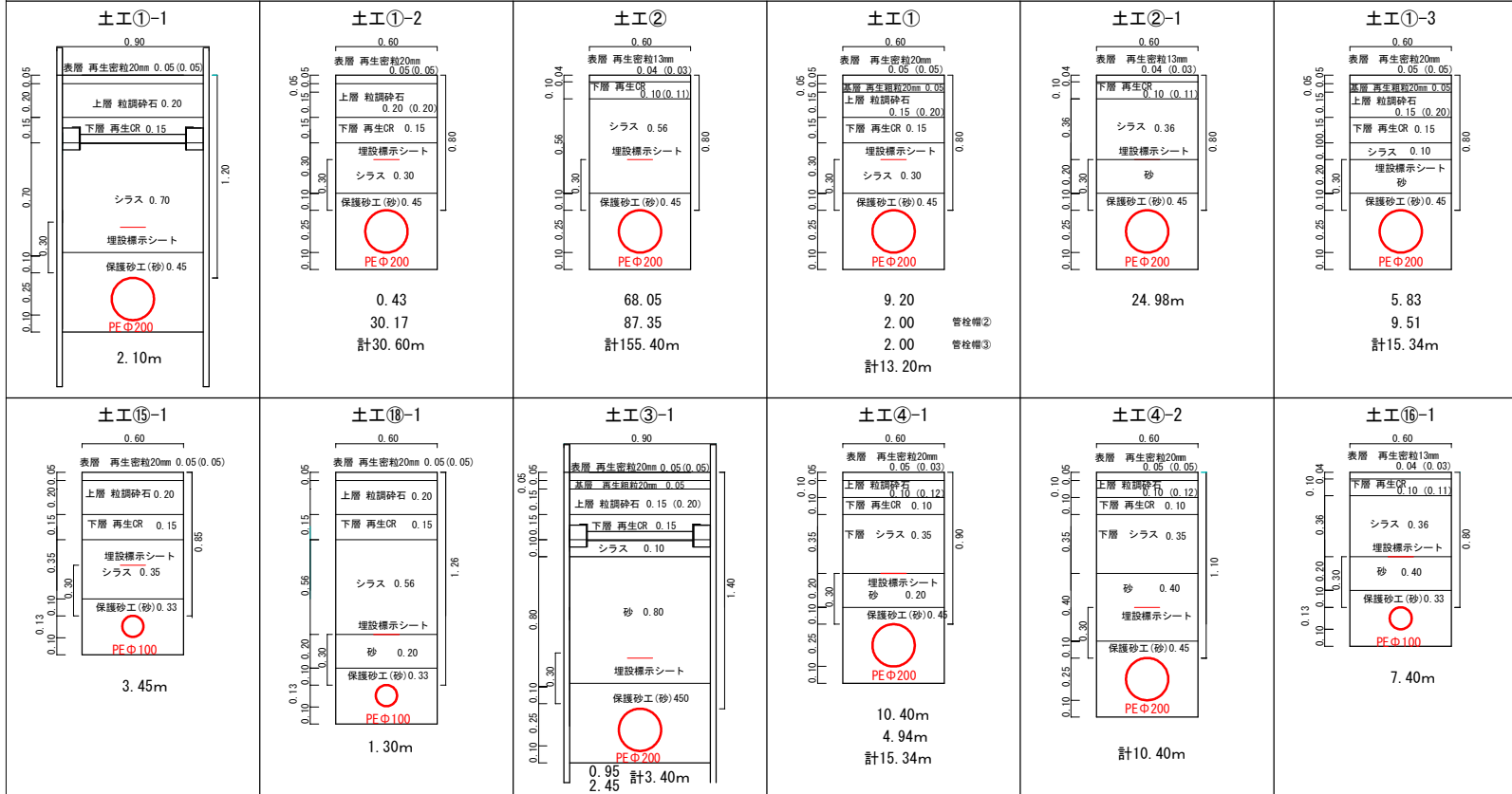
年度	令和○年度	建設R○第○号
工事名	△△△配水管布設工事	
縮尺	図示	図番 1/○
工事期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日	
発注者	都城市上下水道局水道課	設計・監督 ○○ ○○
工事施工	㈱ ○○設備	現場代理人 ○○ ○○
設計委託	管理技術者	

# 土工平面図 1/750

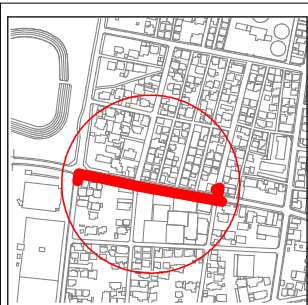


位置図 1/10,000

復旧図 1/30



年度	令和〇年度	建設R〇〇号
工事名	△△△線配水管布設工事	
縮尺	図示	図番 2/〇
工事期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日	
発注者	都城市上下水道局水道課	設計・監督 ○〇〇
工事施工	㈱ ○〇設備	現場代理人 ○〇〇
設計委託		管理技術者



位置図 1/10,000

給水取出し位置は、遠近に関わらず仕切弁や消火栓等からの距離を図示する事。

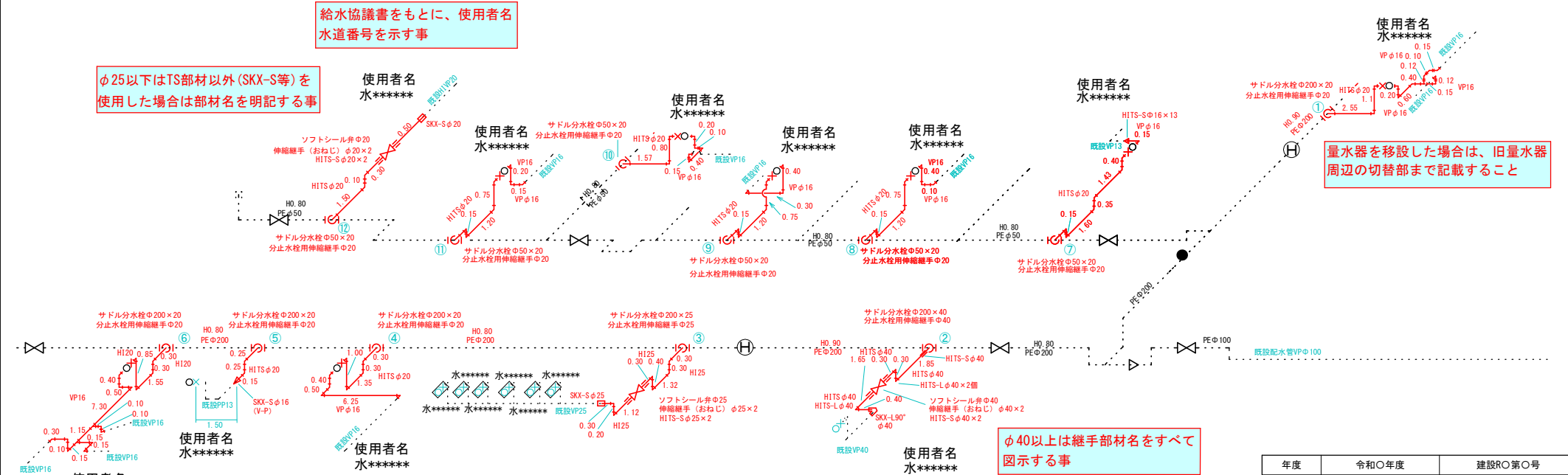
# 給水平面図 1/750



給水協議書をもとに、使用者名水道番号を示す事

φ25以下はTS部材以外(SKX-S等)を使用した場合は部材名を明記する事

量水器を移設した場合は、旧量水器周辺の切替部まで記載すること



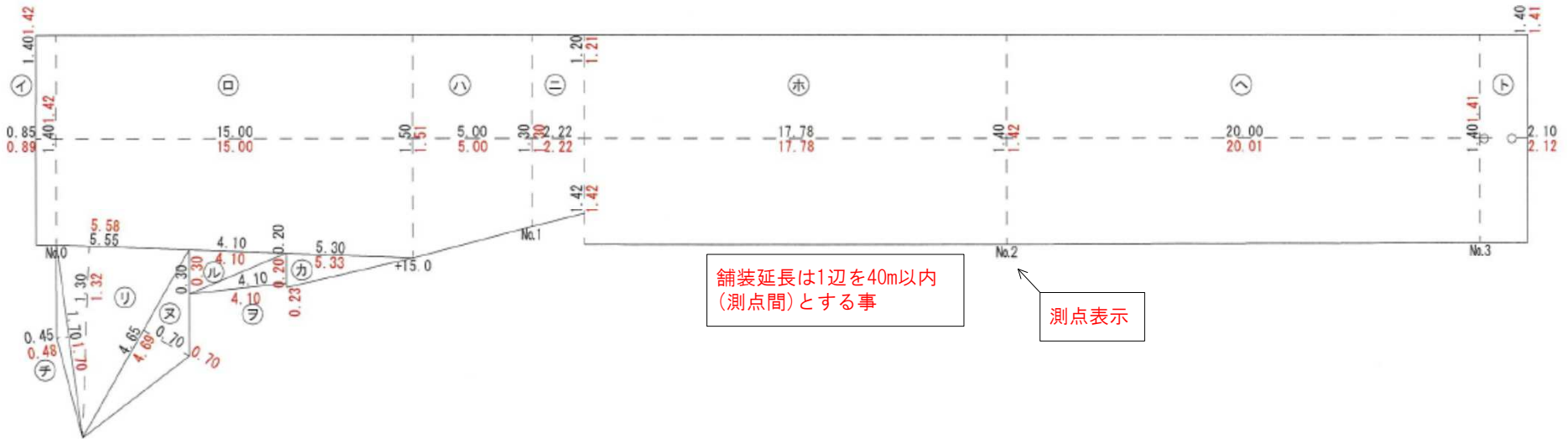
公道部接続の場合は、接続部から止水栓(第一バルブ)までの距離を記載する事

φ40以上は継手部材名をすべて図示する事

年度	令和〇年度	建設R〇第〇号
工事名	△△△線配水管布設工事	
縮尺	図示	図番 3/〇
工事期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日	
発注者	都城市上下水道局水道課	設計・監督 ○〇 ○〇
工事施工	㈱ ○〇設備	現場代理人 ○〇 ○〇
設計委託		管理技術者

# 舗装展開図

HIVP φ50北側



舗装延長は1辺を40m以内  
(測点間)とする事

測点表示

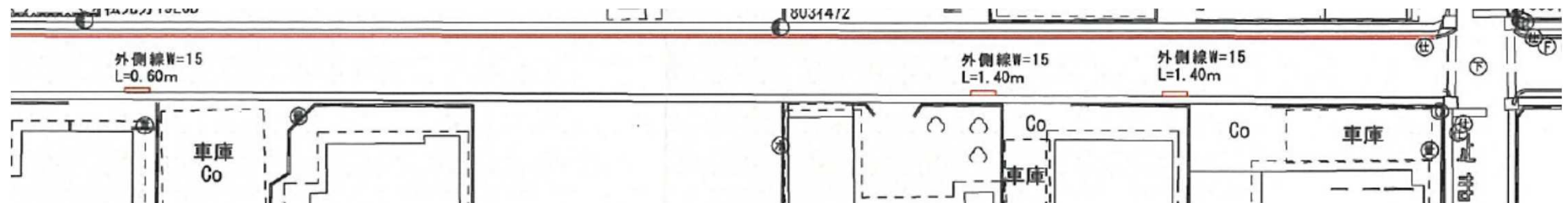
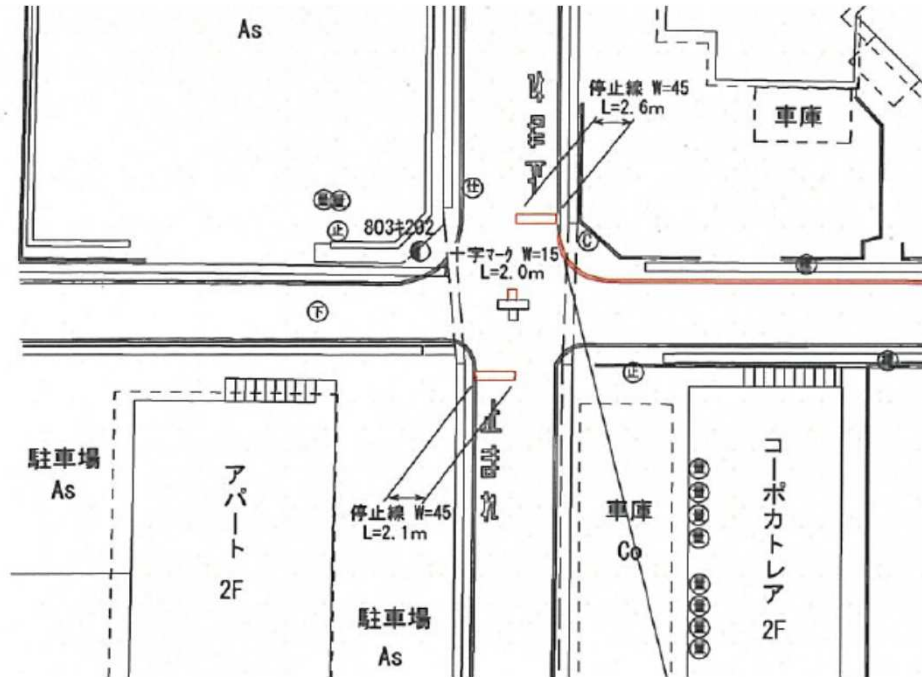
変更前は、下表左側のみを『赤書き』で提出してもらう。  
( 影響部立会会で決定した幅員 = 変更設計数量 )

完成時は、二段書き(変更設計数量・出来高数量)で作成してもらう。

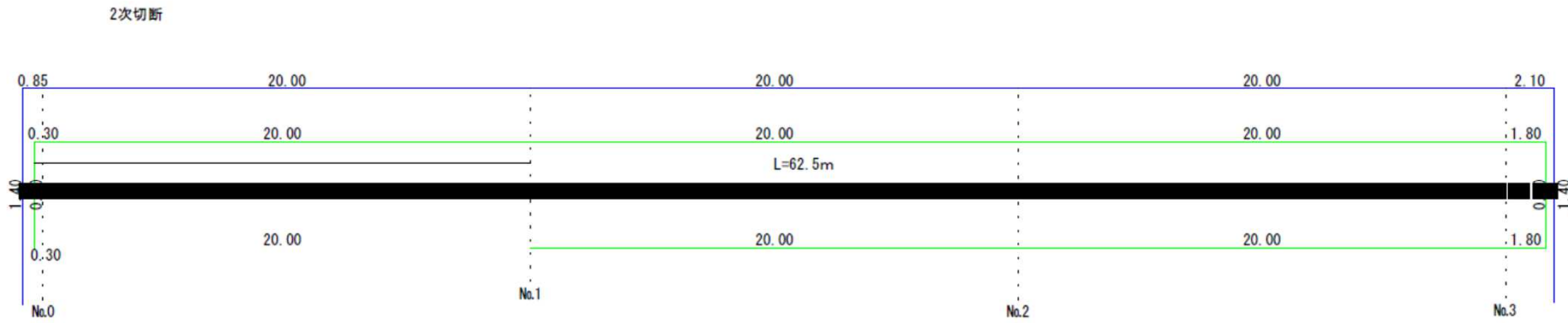
イ	$(1.40+1.40) \times 1/2 \times 0.85 =$	1.19	イ	$(1.42+1.42) \times 1/2 \times 0.89 =$	1.263
ロ	$(1.40+1.50) \times 1/2 \times 15.00 =$	21.75	ロ	$(1.42+1.51) \times 1/2 \times 15.00 =$	21.975
ハ	$(1.50+1.30) \times 1/2 \times 5.00 =$	7.00	ハ	$(1.51+1.30) \times 1/2 \times 5.00 =$	7.025
ニ	$(1.30+1.20) \times 1/2 \times 2.22 =$	2.775	ニ	$(1.30+1.21) \times 1/2 \times 2.22 =$	2.786
ホ	$(1.40+1.40) \times 1/2 \times 17.78 =$	24.892	ホ	$(1.42+1.42) \times 1/2 \times 17.78 =$	25.247
ヘ	$(1.40+1.40) \times 1/2 \times 20.00 =$	28.00	ヘ	$(1.42+1.41) \times 1/2 \times 20.01 =$	28.314
ト	$(1.40+1.40) \times 1/2 \times 2.10 =$	2.94	ト	$(1.41+1.41) \times 1/2 \times 2.12 =$	2.989
チ	$1.70 \times 0.45 \times 1/2 =$	0.382	チ	$1.70 \times 0.48 \times 1/2 =$	0.408
リ	$5.55 \times 1.30 \times 1/2 =$	3.607	リ	$5.58 \times 1.32 \times 1/2 =$	3.682
ヌ	$4.65 \times 0.70 \times 1/2 =$	1.627	ヌ	$4.69 \times 0.70 \times 1/2 =$	1.641
ル	$4.10 \times 0.30 \times 1/2 =$	0.615	ル	$4.10 \times 0.30 \times 1/2 =$	0.615
ヲ	$4.10 \times 0.20 \times 1/2 =$	0.41	ヲ	$4.10 \times 0.20 \times 1/2 =$	0.41
カ	$5.30 \times 0.20 \times 1/2 =$	0.53	カ	$5.33 \times 0.23 \times 1/2 =$	0.612
合計 95.71㎡			合計 96.96㎡		

可能な限り管種口  
径別に分ける。

区画線詳細図



舗装切断展開図



HIVP φ 50北側

1次切断  $0.70+0.30+0.30+20.0+20.0+20.0+20.0+20.0+1.8+1.8+0.7=125.6\text{m}$

2次切断  $1.40+0.85+20.0+20.0+20.0+2.1+1.4=65.75\text{m}$

可能な限り管種口  
径別に分ける。